

## <マニュアル訂正連絡票>

# ASP RDA-SV 説明書 V25

[J2K0-3233-01-G2]

2023年3月28日発行

修正箇所 (章節項): 第1部 RDA-SV/TCP 編 3.1.1.3 Symfoware6000 環境 「RDA バッファサイズ」

### 旧記事

RDA バッファサイズ =  $\uparrow (\text{BUFFSIZE パラメタ} \times 4 \times \text{接続数}) / 64 \uparrow$

BUFFSIZE パラメタ: STRRDAT コマンドのパラメタ。初期値は、32 (K バイト)。

$\uparrow$ : 小数点以下切上げを示す。

### 新記事

RDA バッファサイズ =  $\uparrow (\text{BUFFSIZE パラメタ} \times 4 \times \text{接続数}) / 64 \uparrow$

BUFFSIZE パラメタ: STRRDAT コマンドのパラメタ。初期値は、32 (K バイト)。

BUFFSIZE パラメタは、使用する SELECT, UPDATE, DELETE, INSERT 文で選択される項目の長さ及び数の総和が余程大きく無い場合 (長さが 31K バイト未満、項目数が 200 項目未満程度) は初期値の 32K バイトで使用して、大きい場合は、64K バイトなどに大きくして指定する。また、全ての接続に適用されるのでシステム全体として見積る。

$\uparrow$ : 小数点以下切上げを示す。

修正箇所 (章節項): 第2部 RDA マルチアクセラレータオプション編 7.1 環境設定 「3) RDA-SV の環境設定」 - 「セッション区画サイズ」

### 旧記事

セッション区画サイズ

STRRDA コマンドの BUFFSIZE パラメタから以下の表をもとにセッション区画サイズを求める。

### 新記事

セッション区画サイズ

STRRDA コマンドの BUFFSIZE パラメタから以下の表をもとにセッション区画サイズを求める。

BUFFSIZE パラメタは、使用する SELECT, UPDATE, DELETE, INSERT 文で選択される項目の長さ及び数の総和が余程大きく無い場合 (長さが 31K バイト未満、項目数が 200 項目未満程度) は初期値の 32K バイトで使用して、大きい場合は、64K バイトなどに大きくして指定する。また、全ての接続に適用されるのでシステム全体として見積る。

旧記事

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標、または登録商標です。

新記事

旧記事を削除して下さい。

旧記事

— JDBC 連携

新記事

旧記事を削除して下さい。

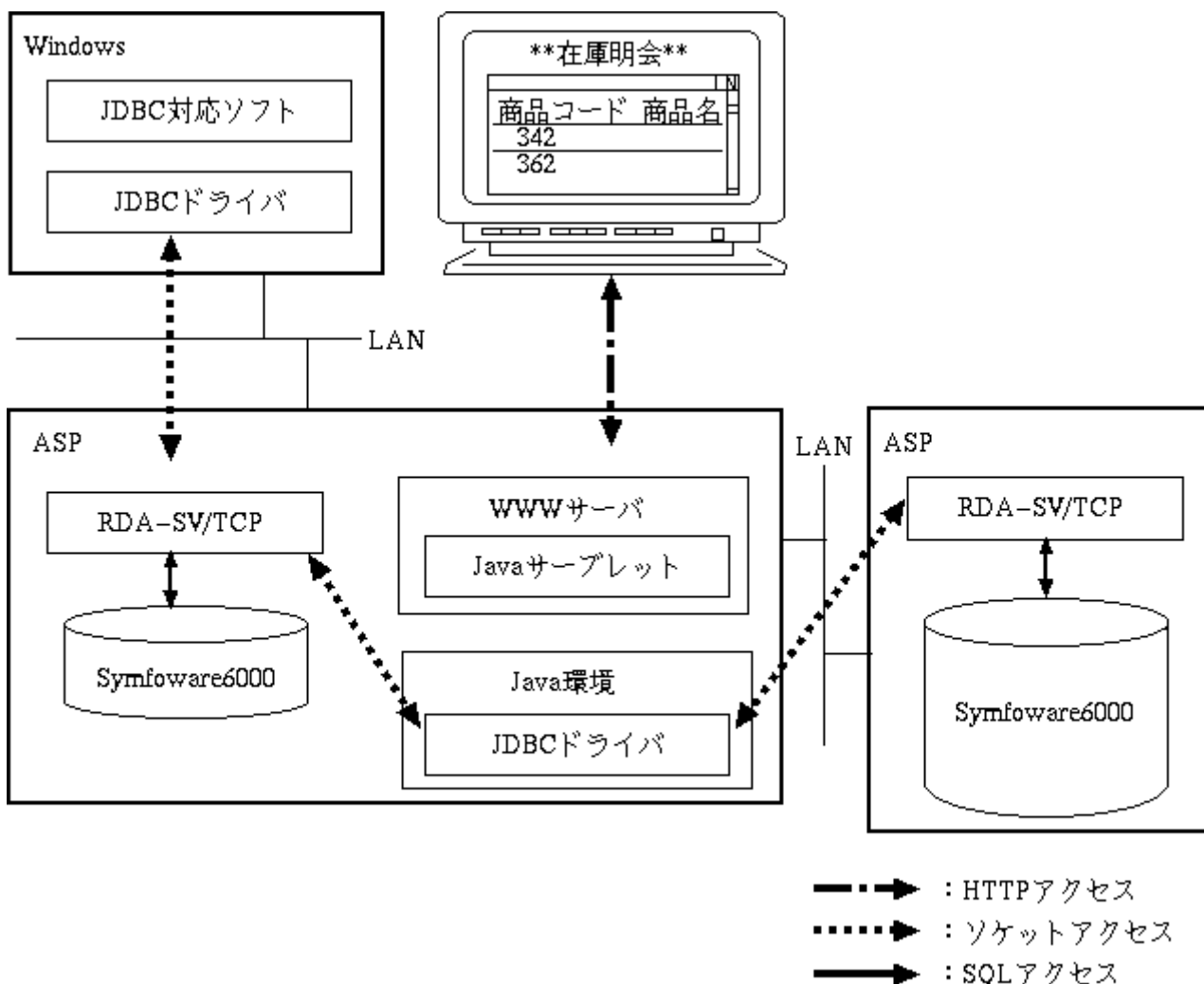
旧記事

JDBC 連携

JDBC ドライバによって、Java アプリケーション、Java アプレットなどから ASP の Symfoware6000 のデータベースにアクセスできる。

JDBC 連携を図 1.3 に示す。

図 1.3 JDBC 連携



## 新記事

旧記事を削除して下さい。

修正箇所 (章節項) : 1.5 実行できる SQL 文

## 旧記事

- ・ COMMIT, ROLLBACK 文は, 指定できない. COMMIT, ROLLBACK するには, アプリケーション製品 (VisualBasic, COBOL, Java など) の指定方法を参照されたい.

## 新記事

旧記事の赤字の部分を削除して下さい。

修正箇所 (章節項) : 3.1.1.5 認証

## 旧記事

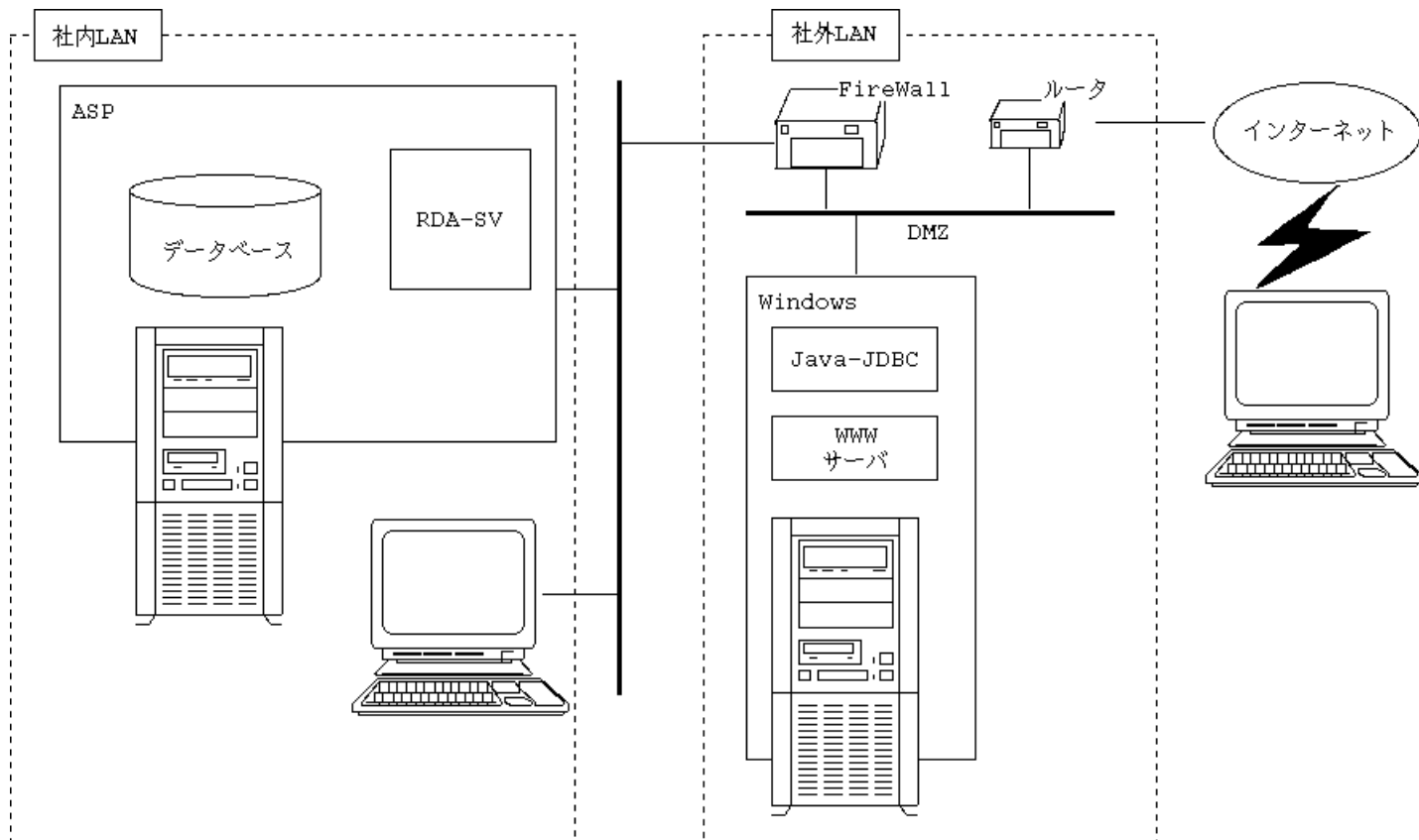
- JDBC ドライバで, conversionsite オプションを省略または “DRV” を指定している場合は, 半角 18 文字以内.
- JDBC ドライバで, conversionsite オプションに “SV” を指定している場合は, 半角 9 文字以内.

## 新記事

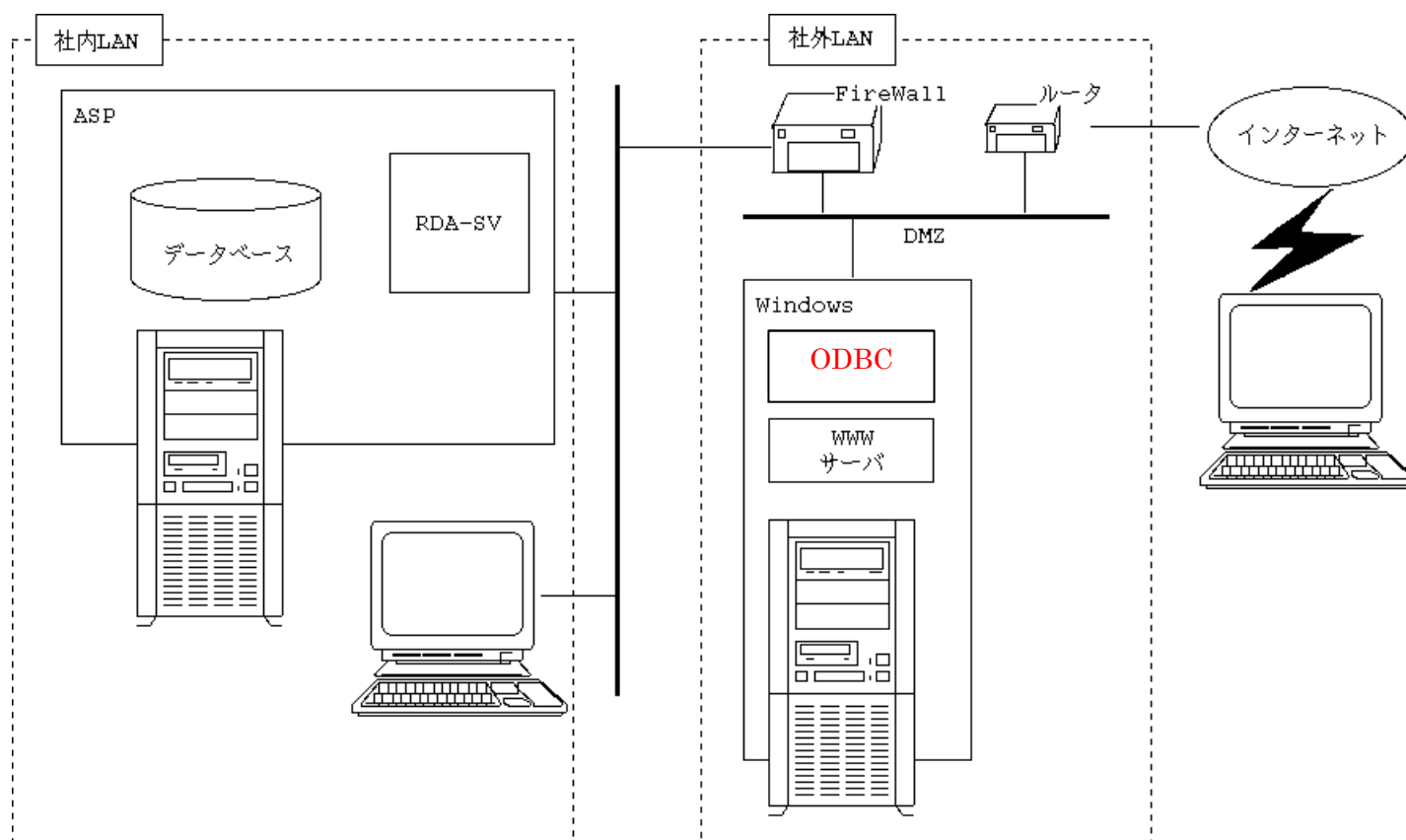
旧記事を削除して下さい。

修正箇所 (章節項) : 5.3 セキュリティへの配慮

## 旧記事



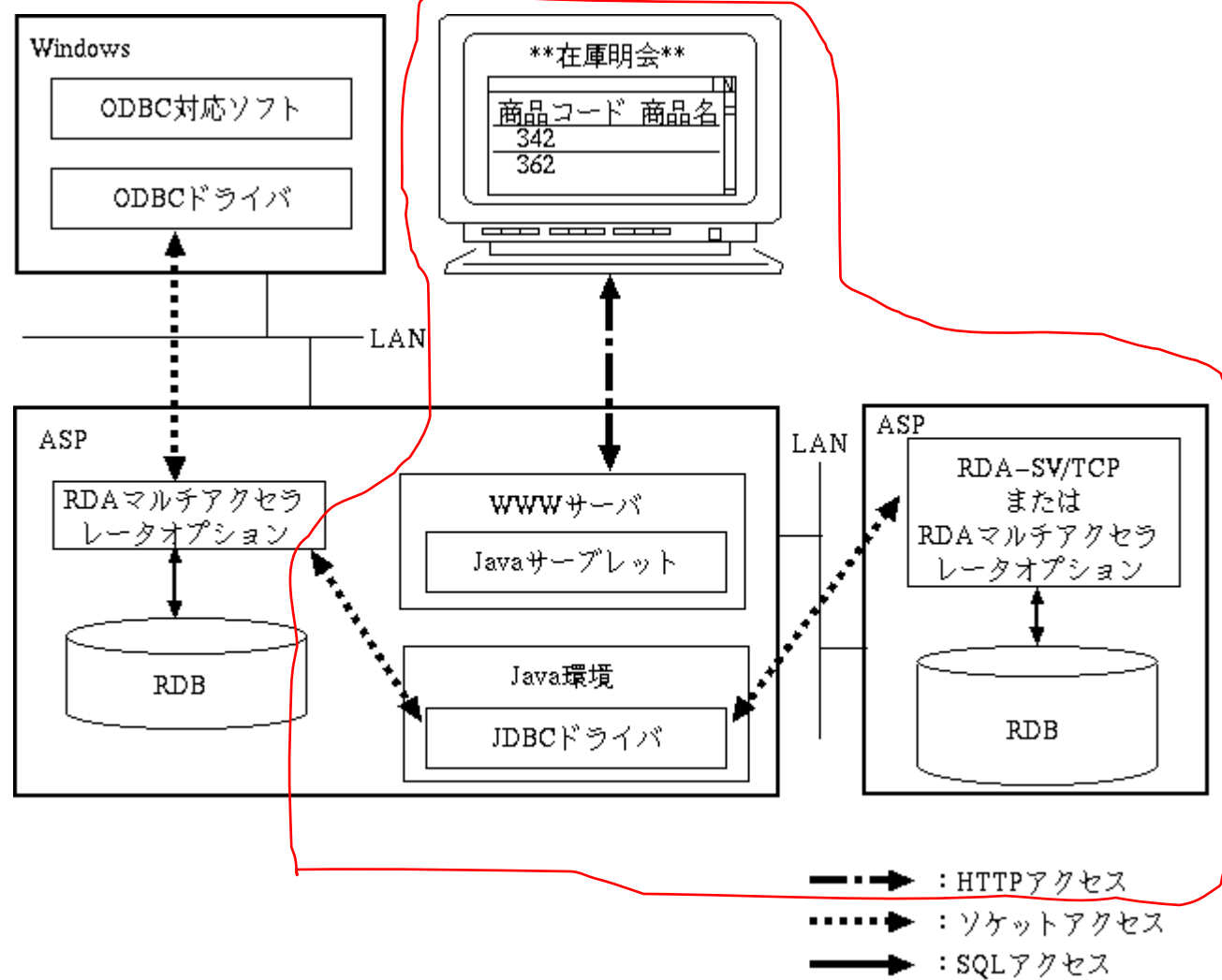
新記事



修正箇所 (章節項) : 6.1 RDA マルチアクセラレータオプションとは

旧記事

RDA マルチアクセラレータオプションとは、多重動作での性能を向上させるリモート DB アクセス環境を提供するものです。



新記事

旧記事の赤線のところの図を削除して下さい。

